

この紙面は山田健康センターのホームページ上でもご覧いただけます

山田健康センター 検索



第173回の西式甲田療法勉強会は第17期がスタート。9月11日(土) 14:00~
生涯学習センター・かがやきで。テーマ「健康になるための条件・西式甲田式か
ら」¥600。断食食は冷やし葛断食¥400。コロナ情勢下ですので事前にお問合せを

○友達が少し厄介な病気なんだそうです

今年春からこの療法に取り組み3カ月、今体調が良くて悩みだったアレルギー皮膚炎がすっかりなりを潜めて機嫌が良い女性が出来た。「今日は森先生から肝臓も随分良くなってきた」と言われました。「それはいい。肝臓がしっかり働いてくれるようになれば、お肌だけでなく血液浄化や免疫も立て直ってきたでしょうから疲れを感じなくなってきたのではないですか?」「ええ。肝臓が悪かったのですね!知りませんでした。」「でも気にするほどのことでもないでしょう。血液検査でも現れない程度です。」「あの~少し前友達でしんどくて落ち込んでいる人がいたのですが、以前にもそうしたことがあるらしくてやはり肝臓が悪いのじゃないかと思うんです。このやり方を教えてあげたらきっと…」

「いや決めつけは行けません、肝臓検査でクロと解っているのですか?確定診断があればそれに沿ってご相談に乗った方が良いと思います。まあご本人はお悩み深いのかもかもしれませんが…」この女性のように簡単に結果を出せるかどうか?見通しを立てて話を持っていくのが責任ある相談と言えるだろう。この類の性急な人はよく居る。が善人である。

○重病人ほど治り易い(悪人正機説)

病の根の深さというか業の深さ加減は一見では分かりにくい。一般にこの病には××が効くとか足りない××成分を補う式の短絡的発想が試しやすいのだろうが、そうとばかりはいかない。また相手の方がどのような考えの人なのか、薬や健康食品で解決できれば簡単と望むかもしれないし「高価で特別」なものほど信頼できそうとラクな道を選ぶかもしれない。逆にそんな手軽に改善する物

ならもうとっくに治っていたはずだとして慎重に見極めようとするかもしれない。その方の悩み具合と直観力、アドバイスする人の人柄と社会的信用性が大事になってくる。

縁はどこに転がっているかわからない。もし、難しい病を持つ人なら真剣に耳を傾けて手掛りを得た途端に一直線に“道”を歩み始めることだってある。そうした方々はその結果却って治療が進展しやすい。なまじ、チョットした病気ですぐ良くなる人の方がまた元の悪い癖に舞い戻って“寄り道”が多くて治し切らない。10年も経てば体質が逆転してしまうものだ。そんな事例を見る度に頭をよぎるのが真宗の祖親鸞の悪人正機説。「善人なおもて往生をとぐ。いわんや悪人をや」即ち、善人(自力作善の人)は自己の能力で悟りを開こうとし、仏に頼ろうとする気持が薄い、が、煩惱にとらわれた凡夫(悪人)は仏の救済に頼るしかないとの気持が強いためその願いが通じて仏に救われるとした考え。

「いずれにせよ、奥さんがもっと今以上に元気になりそれが内から溢れだして来たら、黙っていてもその方だって関心を示して来られるでしょう。」「それもそうですね。」

○INORI



心情に「全託」が貫かれておれば素直に他力本願へと入り易いようだ。中途半端な知識や断片的な情報などにへたに惑わされにくいからだろう。そういう理屈はそうだろうが、自分を捨て神仏に全部を委ねることが意外と難しい。特に科学万能でエビデンスを大事にするご仁にあっては、納得できないものに価値を見出しにくいからである。縁がつながるか否かが分岐点か?

☆ 如是我聞——甲田語録 28

> 癖直しは自分との闘い 1 <

病気治しは癖直しです。生活習慣を改めることなのです。その癖ですが、心の癖と体の癖があります。心は体に影響を及ぼし、体は心の状態を表現しており相関関係にあります。両者の癖直しが求められます。

ところでよく、まだ治ってきませんがいままでやればいいのでしょうか？と問われます。それに対してどういう人間になりたいのか、治ったら何をしたいのかを真剣に考えていますかと問い返すことがよくあります。曹洞宗の道元さんは「切に想う心深ければ、必ず方便も出で来られるようもあるべし」の名言を残されています。本当に心底から健康になりたいと思ったら、その為にはどんな苦しみがあったとしてもこれをやり通すことです。まだそうならないのは想いが足りない、それほど切実には想っていなかったからなんです。朝から晩まで治りたい、治った姿に戻りたいと切実に考えていますか？目標に向っての精進を続

けていますか？そしてその目標は正しいものですか？仏が説く八正道の正思、正精進でしょうか？人は皆それぞれ価値観が異なりますのでね。間違つた方向へ精進していればとんでもない結果を招くわけですから… 将来にどんな自画像を抱いているかが大事なことです。というのも、実は健康ということは人生の本当の目標、ゴールではないのです。

☆ 2泊3日のプチ断食会(一日断食の体験) (山田健康センター、森鍼灸院 共催)

2021年9月18日(土)午後～20日(月)午後 場所: 三重県名張市の森氏宅“あわあわ”で 集合: 近鉄名張駅西口に12:30(送迎あり) 期間中は西式健康法や講義、ワーク、草取り作務などで過ごす 先着5名 参加費:40000円(ただし慢性重度疾患を持つ方は不適合) 問合せ申込:山田健康センター

※当センター主催 第17期 西式甲田健康法勉強会・今後の予定

今期も、昼食に断食メニュー体験を併せて行ないます。1日断食を断行するきっかけになりますので、朝食抜きでどうぞ奮ってご参加下さい。講習会参加費1回600円・断食食400円(自由) 事前申込必要。

第174回	10月9日(土)14:00	六大体操の実習と意義(動ける軽装にて)	すまし汁断食
第175回	11月13日(土)12:00	自分に合う玄米少食の実際・試食会	食材費¥900